

はじめに

一人ひとりの主体的参加の重要性 ～環境教育への期待の高まり～

- 公害から「環境汚染の被害者であり、加害者」
 - 広く地球環境を思い、足元からの実践を
 - 90年代、自らのライフスタイル、仕事の見直しへ
 - 一人ひとりできる事から、くらしと仕事に責任を
-
- 1993年 環境基本法
 - 1994年 環境基本計画
- 「循環・共生・参加・国際的取組み」
「規制」から「自主的な取組み」の喚起へ